

第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針進捗状況管理表

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容
1	1	子どもの遊び・学力向上に体験的取り組みの提供と	施策項目1 子どもたちの心を支える環境の充実	1101	① 学校課	コミュニティ・スクールなど地域の協力による「気になる情報提供」の仕組みづくり	コミュニティスクール運営経費	各学校の地域の実情に合わせ順次コミュニティ・スクールを導入	1校新たに導入予定
2	2			1102	① 関係各課	「子どもオンブズパーソン制度」の検討	【福祉政策課】子どもオンブズパーソン制度の検討	【福祉政策課】検討中	【福祉政策課】子どもオンブズパーソン制度の設置に向けた検討を行った。
3	3			1103	① 子ども家庭支援センター	就学前児童・妊婦への教育	・オンライン健康相談 ・プレママ&乳幼児健康相談 ・親の子育て力向上支援講座	・子育てに関する悩み不安を解消できる場の提供	・オンライン健康相談の実証実験中 ・プレママ&乳幼児健康相談実施 (全32回、生保センター・児童館で実施) ・幼児期/児童期子育て講座の実施(2クール:各6日間、12人定員)
4	4			1104	① 学校課	個別最適な学びと協働的な学びの推進	学校教育基本構想の推進	個別最適な学びと協働的な学びの実施	個別最適な学びと協働的な学びに基づいた授業改善
5	5		施策項目2 生活環境に配慮した学習支援	1201	① セーフティネットコールセンター	生活困窮家庭の子どもに対する学習支援の拡大(「ほっとも」を全中学校区に設置)	子どもの学習・生活支援事業	学習支援事業を市内全中学校区に設置予定	令和4年10月から五か所目事業所の開設
6	6			1202	① 生涯学習課	放課後の学習支援の拡大	・学校や地域の特性に応じ、児童・生徒の「学習習慣の確立」や「基礎学力の定着」を図る事業として、国・都の地域未来塾事業補助金を活用した「放課後の学習支援」を学校からの要請により地域本部が主体となって行う。小学校6校(滝合小・平山小・三小・一小・仲田小・夢が丘小)にて実施。	実施小学校の拡大	令和4年度も「地域未来塾」事業を活用して継続する。地域や学校の実情に応じながら、感染の予防に留意した上で、様々な工夫を凝らした活動を行う。なお、令和5年1月より旭が丘小学校にて活動を開始。
7	7			1203	① 学校課	家庭訪問の実施	家庭訪問の実施	実情に応じた形での家庭訪問の実施	小中学校全校において、地域や学校の実情に応じた家庭訪問を実施
8	8			1204	① 学校課	教員の働き方改革の推進	教員の働き方改革推進事業	未定(新方針が決定した上で検討)	未定(新方針及び新方針に基づく取組の方向性が決定した上で検討)
9	9			1205	① ICT活用教育推進室	オンライン学習のためのインターネット環境が整っていない家庭への支援	モバイルWi-Fiルーター貸出(学校へ貸与)	インターネット環境が整っていない全ての家庭に対し、児童・生徒の学習用端末の持ち帰りを可能にする。	学校へ300台(各校10台程度)のWi-Fiルーターを貸し出している。これらの児童・生徒への貸し出し基準を学校との意見交換を踏まえ明確にする。
10	10			1301	① 都市計画課	空き家等を活用した無料の自習スペースの提供	空き家活用マッチング事業	空き家活用に伴う自習スペースの場の導入	空き家活用マッチングを実施
10	11				② セーフティネットコールセンター		空き家等を活用した無料の自習スペースの提供の検討	検討中	たきあいあいで実施可能か検討
11	12		1302	① 図書館	図書館の学習スペースの周知・広報による利用啓発	図書館の可能な範囲での子どもの学習スペースの設置	関係する団体とつながりを持ち、図書館事業についてのPR,情報交換等を行う。	可能な範囲で子どもの学習スペースを設置し、周知する。居場所としての図書館PRのため、案内パンフレットを作成し、関係部署で配布した。	
12	13	1401	① 産業振興課	地域企業との連携による就業体験の実施	【ものづくりの楽しさ応援プロジェクト】日野市商工会、明星大学と連携し、「ものづくり」の仕組みを学習し、創造力のあるエンジニアの卵を育成する。これからの製造業に必要なプログラミング教育に加え、手を動かして学べる機会を設け、継続して学習できる場づくりを行う。 ・カワセミロボットを使用した小学生向けプログラム教室(入門編)(会場PlanT7月23日・7月30日) ・カワセミロボットを使用した小学生向けプログラム教室(中上級編)(会場PlanT 8月6日) ・明星大学プログラミングパークCABA(会場PlanT 8月11日~8月13日) ・明星大学夏休み科学体験教室(会場明星大学 8月) ・Scratchを使った楽しいプログラミング~マイクロビットカワセミロボットを使って(会場中央公民館8月19日~21日)	○ものづくりの楽しさを通じ、理系・工業系人材を発掘育成 ○プログラミング教育等について、継続して学習できる場作り	○オンラインCAD講習 ○プログラミング体験イベントCOPERUプロジェクト ○プログラミング教室 ○夏休み科学体験教室 ○ものづくりワークショップ		

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容	
13	14	子どもの遊 びの学 力・学 向上 に取 り組 みま す と	施策項目4 遊びや社会体験、 文化に触れる学習の提供	1402	①	ふるさと文化財課	（1）子ども向け事業の実施 ①夏の企画展「クイズDE新選組と日野」7月23日(土)～9月11日(日)於新選組のふるさと歴史館 ※関連事業「天然理心流剣術体験」は感染症拡大防止のため中止 ②「考古学体験初級編」7月23日、8月13日、27日 ③小・中学校の見学・調べ学習対応、出張授業 13件(令和4年12月31日現在) （2）資料のインターネット上での公開 ※令和5年3月より運用開始予定	子どもたちが身近な歴史や文化に触れる機会の充実。	(1)子供向け事業の実施 ・小中学生を対象とした展示の実施。 ・小中学生を対象とした（もしくは参加可能な）講演会、体験学習会の実施。 ・小中学校の郷土学習、歴史学習との連携。 ・事業実施に際しては、児童・生徒への周知の協力を学校に依頼する。 (2)資料のインターネット上での公開 ・新選組のふるさと歴史館や郷土資料館に来館する機会のない子どもたちに対し、地域の歴史・文化を理解するための情報を提供する。 ・学校に対し、郷土学習に活用できる情報を提供する。	
13	15				②	中央公民館	地域の催し等へ参加する際に多文化共生参加や地域の多様な主体と交流する機会の増大	地域・学校と連携し、子どもを主体にした事業を実施 ・第16回ひのっ子シェフコンテスト（1回）	すべての地域住民が公民館を介して、地域・多文化共生活動を理解し、参加することが出来る体制の充実	(1)公民館まつり・アートフェスティバル等で子どもたちが主体的に参加できる事業を行う（1回）。 (2)子どもを主体にした世代間交流事業を学校等と連携して実施する（4回/年程度）
13	16				③	文化スポーツ課	令和4年度はアウトリーチ事業として ①小学校で竹楽器の演奏、体験 ②中学校でドラム演奏、体験を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、親子での参加はできなかったが、当日の模様をリモート配信で自宅から観れる対応を行った。	芸術文化事業に貧困家庭の子どもが参加できる仕組みの検討	親子で楽しめる文化事業の実施(複数回の実施) 学校等公共施設におけるアウトリーチ（ワークショップや体験）の実施	
13	17				④	子育て課	児童館の出張出前チラシ作成。「ななおBONまつり」、「谷中山まつり」「育成会」「PTAまつり」等依頼による児童館コーナー出店。 児童館職員による講師派遣。ファミリーサポート研修等へ派遣実施。	全児童館において、移動児童館の実施。児童館職員が講師となる講師派遣は、全児童館で常時実施する。	令和3年度に計画を立てた新規移動児童館を実施予定。講師派遣を行うチラシを各館に設置。職員の講師派遣は依頼により随時実施する。	
14	18			①	産業振興課	産業まつり実行委員会において、日野市商工会やJA東京みなみと協議した結果、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を鑑みて今年度の開催を中止した。	市内企業の事業内容の発信をすることで受発注の増加および共同研究・共同開発等の連携促進の支援を行う。	○日野市商工会と工業展開催に向けた協議(令和4年5月～) ○日野市産業まつり開催(令和4年11月/15社展示)		
14	19			②	中央公民館	様々な体験を聞いたり、文化に触れる場の提供	(1)親子で地域交流を体験できる事業を実施 ・「親子de多文化交流」など3事業(全4回) (2)地域住民と協働した子どもの居場所となる事業を実施 ・子ども将棋指導対局（12回） (3)子ども向けの講座・事業の実施 ・「Scratchを使った楽しいプログラミング」など7事業(全11回) (4)公民館空き部屋の学習支援開放 ・勉強ルームin公民館	すべての子どもが公民館を介して地域の様々な文化・歴史を体験できる体制の充実	(1)親子で参加しながら、地域交流できる事業等の実施(8回程度) (2)地域住民と協働した子どもの居場所づくり業の推進（12回程度） (3)子ども向けの講座・事業の実施(12回) (4)公民館空き貸部屋の学習支援開放のPR強化	
14	20			③	図書館	援助を必要とする子どもと関わる団体・施設へのリサイクル資料の提供、出張おはなし会、図書館利用案内	関係する団体と繋がりを作り、必要な支援について随時確認しあいながら、適切な事業を行う。	関係する団体の状況を把握し、アプローチする。		
14	21			④	学校課	芸術文化創造性育成事業	全校で実施	体験活動を年間指導計画に位置付け、新型コロナ感染症対応を講じながら体験活動を実施する予定である。		

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容	
15	22	子どもの遊び・学びの向上に努めます	施策項目4 遊びや社会体験、文化に触れる学習の提供	1404	① 子育て課	自然体験の機会の充実	ひのいきいき体験を令和4年8月9日・19日に実施。借上げバスで東京都民の森（檜原村）に行き、自然散策と木工工作を体験。応募総数126名の中から抽選で選ばれた市内小学4～6年生の計34名が参加	日野市青少年育成会連合会と共催し、地域の子ども達に自然体験の機会を提供していく。	日野市青少年育成会連合会と共催し、ひのいきいき体験事業を実施する。実行委員会を立ち上げ、感染症対策として例年より参加者を絞って、令和4年8月に2回実施予定。	
16	23			1405	① 都市農業振興課	市内農業者の協力による「農業体験」の実施	市民親子野菜塾	農業体験を通じた「親子の絆の形成」及び「都市農業への理解の醸成」の推進	親子野菜栽培体験イベント 8回実施	
17	24			1501	① 庶務課	高校生奨学金制度の継続と周知方法等の検討	高校生奨学金制度	アンケート等によるフィードバックを通じ、制度をより効果的なものに改善すること。	LINEでの通知回数を増やし、より広く周知を行う。	
18	25	安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります	施策項目1 食習慣の改善、食事提供等の支援	2101	① 健康課	家庭での食育の推進（健康・食習慣、豊かな心の育成支援、第4期食育推進計画に沿った拡充）	食育推進会議の開催（令和4年7月実施）	第4期日野市食育推進計画において取り組み、達成度の検証	食育推進会議の開催	
19	26			2102	① 学校課		「給食だより」等による情報発信		「家庭における食育」の大切さや健全な食生活の普及啓発	給食だより、ホームページ等とおして、保護者に対し、食育の基本である「家庭における食育」の大切さ伝える。「給食だより」に食事と健康に関するコラムをのせ家庭に情報発信をする。
19	27				② 子育て課	情報を共有し、学校、保育園、児童館等での子どもへの食育の推進（食習慣、豊かな心の育成、第4期食育推進計画に沿った拡充）	新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、おやつ作り、食事づくり、キャンプ自炊を開催。	子どもが自分ひとりでもできる簡単なランチづくり。もちつき・いも掘りなど伝統行事、季節行事を地域の実情に合わせて実施。フードパントリーとの連携を全児童館にて実施する。	新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、食育事業（おやつ作り、食事づくり、キャンプ自炊、作物の収穫体験等）を実施予定。	
19	28				③ 保育課		「公民交流事業委員会」栄養士会、こどもまつり	第4期食育推進計画に沿った食育の実施	(1)：公民栄養士会での情報共有・情報提供(令和4年6月)→中止 (2)：こどもまつりの公民栄養士コーナーでの情報提供(令和4年10月頃)→参加なし (3)：公民栄養士会での情報共有・情報提供(令和5年2月)	
20	29			2103	① 子育て課		子ども食堂連絡会を6月に開催し、団体間の橋渡しや情報の提供を行った。年度内に市HPで連絡会参加団体の活動を紹介予定。市内児童館10館でフードパントリーを実施。	食習慣の改善等に取り組む団体等や新たに活動を希望する団体等への支援の充実を図る	子ども食堂連絡会を開催し、団体間の橋渡しや情報の提供を行う。支援の在り方を検討する。引き続き児童館でフードパントリーを実施する。	
20	30				② セーフティネットコールセンター	食習慣の改善等に取り組む団体等への運営等支援（子ども食堂、フードバンク、児童館等市内施設でのフードパントリーの実施）	日野市フードパントリー事業補助金 市内において生活困窮者等に対する食糧提供と同時に、それぞれの生活の状況や食以外の困りごと等について話を聴くことで、相談支援窓口を利用していない生活困窮者を適切な相談支援機関等につなぐための支援を行う事業者に対し、当該事業に要する経費の一部を補助する。（R4年度：150万円）	フードパントリー事業等の活用により困窮者へ安定した食品の供給を行う。	フードパントリー運営事業者への補助金交付を継続する。	
21	31			2104	① 関係各課		朝食を欠食した子どもに対し軽食の無料提供検討（フードドライブの活用、農業者、スーパー、コンビニなどから果物、パンの提供の活用検討）	【学校課・子育て課】朝食を欠食した子どもに対し軽食の無料提供検討	【学校課・子育て課】検討中	【学校課】子どもの貧困に関わる関係各課と連携して、実施主体や場所、方法などから広く検討していく。 【子育て課】学校での朝食提供の実施を希望する団体に対し、教育委員会への橋渡しを行う。継続的な活動に対する経費の補助を検討する。
22	32			2201	施策項目2 健診結果等による気づきと情報共有による支援	① 学校課		学校歯科、乳幼児歯科健診結果の情報共有（個人情報配慮、個人情報がスムーズに共有できる仕組みづくり）	健診の実施及び配慮を要する児童・生徒の情報共有	歯科検診結果から経済状況を把握し、必要な支援に結びつける。
22	33	② 健康課				乳幼児健診時にむし歯がある子どもに対し歯科受診を支援。	多職種と連携したむし歯のある子どもへの支援	乳幼児健診の中で経済状況について把握し、必要な情報提供と支援を実施。状況により保健師等専門職にフォローに入ってもらう支援につなげる。		

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容						
23	34	安心して生活できる環境を基本的生活習慣の改善を図ります	施策項目2 健診結果等による気づきと情報共有による支援	2202	① 子ども家庭支援センター	関係機関と連携した児童虐待防止と虐待防止に係る見守り強化（連携の強化）	・日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会 ・乳幼児健康診査	要保護児童対策地域協議会の活用・情報共有・情報交換・支援に関する協議の活発な実施	(1)日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会代表者会議の開催(年1回) (2)日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会地域別会議の開催(年16回) (3)日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会個別ケース会議(随時) (4)主任児童委員との連絡会(年2回) (5)エールSSWと統括指導主事、教育センターとの共有会議（年12回） (6)乳幼児健康診査の実施（年計36回 3～4か月児・1歳6か月児・3歳児）						
24	35			2203	① 平和と人権課	配偶者等からの暴力（DV）の未然防止、早期発見と対応策の強化（連携の強化）	(1) 配偶者暴力被害者支援担当者研修会、連絡会の実施 (2) DV土曜講座（傷ついた心の回復をめざす講座） (3) パネル展などの啓発活動 (4) 中学校全8校へのデートDV出張講座 (5) 女性相談	DVを未然に防止する。DVを受けてもDVからなるべく早期に逃れられる人を増やす仕組みを検討。 DV加害者側にも「気づき」となるような情報発信をする。	(1) 配偶者暴力被害者支援担当者研修会、連絡会の継続実施 (2) DV土曜講座の継続 (3) パネル展などの啓発活動の継続 (4) 中学校全8校へのデートDV出張講座の継続						
25	36		施策項目3 生活習慣等の定期的な把握	2301	① 子ども家庭支援センター	見守り強化事業の検討	日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会	要保護児童対策地域協議会の活用・情報共有・情報交換・支援に関する協議の活発な実施	(1)日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会代表者会議の開催(年1回) (2)日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会地域別会議の開催(年16回) (3)日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会個別ケース会議(随時) (4)主任児童委員との連絡会(年2回) (5)エールSSWと統括指導主事、教育センターとの共有会議（年12回）						
26	37									2302	① 発達・教育支援課	困難を抱える子どもへの寄り添いと心のケア	子どものこころ電話相談	子どものこころ電話相談の周知	・SOSの出し方教育以外での周知方法を検討・実施
27	38									2303	① 関係各課	子ども宅食事業の検討	【子ども家庭支援センター】産後家庭向け配食サービス	【子ども家庭支援センター】産後の孤立感の解消、産婦の負担軽減	【子ども家庭支援センター】産後2か月以内の母親及び同居の未就学児への昼食宅配と見守り（自己負担500円/食）
28	39		施策項目4 子どもと親が安心できる居場所環境の充実	2401	① 子育て課	児童館での高校生向けの事業内容の検討	日野市中高生お便り「あそびバ」を発行・配布。中高生世代向けの施設開放、「中高生タイム」「中高生専用の時間延長開館」等。自習用「勉強ルーム」等の開設。日常来館から中高生のニーズの聞き取り実施。	中高生世代のニーズを調査し、中高生世代の利用が向上する事業を検討し実施する。中高生世代の声を活かした居場所づくりを充実させる。	令和3年度から継続する中高生タイムなどの中高生世代を対象とした行事を実施する。夏休みの中高生世代の利用促進を目指して、チラシ作成し全中学校へ配布。利用促進の動画を作成。中学生や高校生が求める機能について、直接、中学生や高校生へヒアリングによるニーズ調査を行う。						
29	40									2402	① 緑と清流課	子どもの居場所としての公園整備（遊具の充実、街灯設置）	遊具のある公園の遊具点検（年3回）を実施し、点検等により不具合が確認された場合は、修繕や新設など実施	公園施設長寿命化計画の策定とその計画に基づく計画的な修繕 公園の遊具点検は国の指針に基づき遊具の修繕計画の策定。	遊具のある公園の遊具点検（年3回） 点検等により不具合が確認された場合は、公園遊具修繕料（800万円）にて修繕を実施する。
30	41									2403	① 子育て課	子どもと親の居場所づくり活動に取り組む団体等の運営等に対する支援	市内4か所のプレーパークの視察を順次実施中（10月、12月、1月）。年度内に市HPで各プレーパークの活動を紹介予定。	居場所づくりに取り組む団体等への支援を実施し、親子の居場所の充実、地域との関わり合いの創出を図る	各プレーパークの視察を行い、それぞれの団体の実情に合った、補助金、物品の貸し出し、広報活動等の支援をしていく
30	42														
30	43		③ 地域協働課	市民活動支援補助金	市民活動支援センターの機能拡充と市民活動支援補助金の継続実施	市民活動支援補助金の実施									

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容
31	44	安心して生活できる環境を基本整え、生活習慣の改善を図ります	施策項目4 子どもと親が安心できる居場所環境の充実	2404	① 学校課	今後の幼児教育の在り方の検討	幼保小連携推進事業	これまで日野市が実践してきた幼保小連携のさらなる推進や、多様性に応じた学びの充実などを、公民問わず市内に広めていくための検討を進める。	学識経験者など外部委員を招いた検討会を開催し、今後の施策の方向性を明確化するための議論を開始する。
32	45			2405	① 子ども家庭支援センター	保護者以外の信頼できる大人の見守りがある、子どもが安心して過ごすことのできる居場所づくり	中学卒業後の支援	義務教育終了後の継続した支援の実施。	中学校卒業後の支援に向けた検討部会を開催し、より具体的な支援策を検討していく。
32	46				② セーフティネットコールセンター	・義務教育終了後の継続した支援（相談・居場所・学習） ・小中高生の支援（ほっともの充実）	子どもの学習・生活支援事業	学習支援事業を市内全中学校区に設置予定	令和4年10月から五か所目事業所の開設
33	47		2501	① 企画経営課	雇用、就労の総合的支援を行う部門の必要性の検討	関係各課（企画経営課・セーフティネットコールセンター等）との会議を開催予定	検討の結果、設置の必要性があると判断された場合には速やかに実施に向けた動きをとる。 ○設置検討を実施した結果を会議で決定 ○令和9年度以降に向け、総合的支援を実施する方法のスキームを作成する	担当課を産業振興課へ引継ぐ。 引き続き社会情勢の変化を鑑みながら状況に応じた対応を検討する。	
33	48			② 産業振興課					○設置検討を行うための会議を実施 ○各課の行っている事業の整理
34	49		2502	施策項目5 若者等の生活に寄り添った就労支援の実施	① 生活福祉課	若者（中退者・ニート・フリーター等）に対する就労支援員の活用、就労支援の強化（日野市障害者生活支援センターくらしごと、ハローワーク八王子、ナイスワーク高幡、しごとセンター多摩、市内企業、関係機関等との連携）	日野市障害者生活・就労支援事業	障害のある方の仕事や暮らしの支援体制の充実、実施	・月曜日から土曜日まで（祝日等は除く）の相談・支援の実施（通年） ・関係機関との連携（通年：不定期） ・職場開拓の実施(毎月) ・市協議会への参加 新型コロナウイルス感染症対策として実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、就職活動が滞っている利用者及び企業へのリモート設備等を用いた遠隔支援 ・在宅ワーク等の増加から、障害のある方の特性に沿える求人先が減ったため、新規職場開拓を重点的に実施
34	50				② セーフティネットコールセンター				
34	51		③ 障害福祉課	④ 産業振興課	○関係機関の実施する就職面接会、企業説明会、職業訓練校生徒募集などの広報掲載(毎月) ○就職面接会、企業説明会、セミナーの関係機関との共催による実施(9回)	○広報掲載の継続実施（毎月） ○関係機関との共催による就労支援事業の実施（5年間で50件）	○関係機関の実施する就職面接会、企業説明会、職業訓練校生徒募集などの広報掲載(毎月) ○就職面接会、企業説明会、セミナーの関係機関との共催による実施(10回)		
34	52		⑤ 子ども家庭支援センター	⑤ 子ども家庭支援センター	中学卒業後の支援	(仮称)子ども包括支援センターにおけるセーフティネットコールセンター等との連携、及び就労支援機関へのつなぎ支援の実施	基本計画に沿った体制づくりの構築		
34	53		⑥ 子育て課	⑥ 子育て課	ボランティアリーダーとしての活躍の場を提供。保育実習生受け入れ。職場体験受け入れ（中学生）。	ボランティア育成が全児童館で同じレベルで実施できるようにする。市内のマンパワーが世代を超えて循環するように児童館がコーディネートできるようにする。	ボランティアリーダーの募集のチラシ作成、配布予定。ボランティア育成に関する記録も各館で作成し実施する予定。		
34	54								

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容		
35	55	安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります	施策項目5 若者等の生活に寄り添った就労支援の実施	2503	①	就労支援員による支援やハローワークと連携したひとり親等の生活困窮者への就労支援強化	(1)生活保護業務実施方針の重点事項に就労支援を設定 (2)人事評価上の組織目標・個人目標に対象者全てに対する就労支援の実施を設定	就労支援対象者150人中100名の就職（66%）	(1)生活保護業務実施方針の重点事項に就労支援を設定 (2)人事評価上の組織目標・個人目標に対象者全てに対する就労支援の実施を設定		
35	56				②		セーフティネットコールセンター	ハローワーク八王子の支援員による巡回相談（原則毎週木曜日の午後）	相談者の環境や能力に合わせた自立支援プログラムの提供	・引き続き、世帯の自立のために、増収の必要があるひとり親も含めて、積極的に母子父子自立支援プログラム策定員に繋げていく。 ・ハローワークの巡回相談を含め、就労支援相談窓口の存在の周知啓発を強化する。	
36	57	子どもの負担の軽減を図ります	施策項目1 公的制度による適正な支援	3101	①	生活保護の適正な捕捉による生活支援の強化（進学、就労に向けた自立支援プログラムの推進）	(1)：4月：生活保護業務実施方針において自立支援プログラム実施・推進を重要事項に位置付け (2)：4月：人事評価における組織目標及びケースワーカーの個人目標に事業推進を設定 (3)：4月～：就労阻害要因のない方は全て就労支援プログラムへつなぐ。また、傷病、障害などの課題があっても就労の意思がある方へは積極的な支援をする。また、就労訓練事業の活用を検討する (4)：4月～：学習支援プログラムの対象者すべてに対する学習環境の把握と支援情報の提供、大学進学やその後の就職など人生を見据えることができるような支援	(1)：4月：生活保護業務実施方針において自立支援プログラム実施・推進を重要事項に位置付け (2)：4月：人事評価における組織目標及びケースワーカーの個人目標に事業推進を設定 (3)：4月～：就労阻害要因のない方は全て就労支援プログラムへつなぐ。また、傷病、障害などの課題があっても就労の意思がある方へは積極的な支援をする。また、就労訓練事業の活用を検討する (4)：4月～：学習支援プログラムの対象者すべてに対する学習環境の把握と支援情報の提供、大学進学やその後の就職など人生を見据えることができるような支援	(1)：4月：生活保護業務実施方針において自立支援プログラム実施・推進を重要事項に位置付け (2)：4月：人事評価における組織目標及びケースワーカーの個人目標に事業推進を設定 (3)：4月～：就労阻害要因のない方は全て就労支援プログラムへつなぐ。また、傷病、障害などの課題があっても就労の意思がある方へは積極的な支援をする。また、就労訓練事業の活用を検討する (4)：4月～：学習支援プログラムの対象者すべてに対する学習環境の把握と支援情報の提供、大学進学やその後の就職など人生を見据えることができるような支援		
37	58				①		庶務課	就学援助の拡充検討	日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費の支給（就学援助制度）	妥当な所得要件、給付金額、給付費目の実現	(1)令和4年7月末：学用品費、新入学学用品費等支給 (2)令和4年9月：新入学学用品費の入学前支給申請書を小学校就学時検診の案内に同封 (3)令和4年9月～12月：新入学学用品費の入学前支給申請を受付 (4)令和4年2月上旬：新入学学用品費の入学前支給の認否を決定 (5)令和4年2月末（予定）：新入学学用品費の入学前支給を実施
38	59				①		庶務課	中学校クラブ活動等に係る個人負担費用助成制度の検討（交通費、道具類等）	中学校クラブ活動等に係る個人負担費用助成制度の検討をする	妥当な制度の実現	他市の状況を把握し、支給費目の検討が必要かを確認するようにしている。
39	60	①	子育て課	子どもの医療費助成制度（高校生に対する医療費の助成）の見直し検討	子ども医療費助成制度（高校生等医療費助成制度含）	高校生医療費助成を含む適正な医療費助成事業の実施	令和5年度4月開始の高校生等医療費助成制度において、スムーズな医療証発行をはじめ、適正な子ども医療費助成事業の実施。				

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容
40	61	子どもの基本的方向性3 負担の軽減を図ります	施策項目1 公的制度による適正な支援	3105	① 庶務課	学校における生理用品の配備	全市立小中学校のトイレに生理用品を配備	全市立小・中学校の保健室前のトイレ等に自由に使用することができる生理用品を配置する。また、困ったときには、保健室に来てもらいやすくするなど、その後のケアも含めて対応する	全市立小・中学校の保健室前のトイレ等に自由に使用することができる生理用品を配置。使用状況の調査。
41	62			3106	① セーフティネットコールセンター	市役所庁舎内・子ども家庭支援センター・児童館・子育て応援施設（もぐもぐ）・フードパントリーでの生理用品の無償配布	市役所庁舎内・子ども家庭支援センター・児童館・子育て応援施設（もぐもぐ）・フードパントリーでの生理用品の無償配布	周知強化・サービスの浸透 困窮世帯に対する経済的負担を軽減する	市民や民間団体等の力を借りながら周知の機会を増やす
42	63		施策項目2 公的制度、サービスの利用料等の減免拡充	3201	① 企画経営課	運動施設等の子どもが利用する施設の減免基準の見直し検討	運動施設等の子どもが利用する施設の減免基準の見直し検討	検討の結果、「日野市公共施設等の使用料設定基準」への当該項目追加の必要性があると判断された場合には速やかに実施に向けた動きをとる。	継続的な検討を進める。
43	64		施策項目3 家庭の自立に向けた支援の充実	3301	① 平和と人権課	女性の再就職支援、ハローワークと連携した就労支援	(1) 子育てしながら再就職を目指す方のためのPC講座（ハローワークマザーズコーナー共催） (2) 八王子・日野しごとと子育て両立支援面接会（ハローワーク八王子・八王子市共催） (3) 女性のための再就職セミナー＆個別相談会（しごとセンター多摩共催） (4) 令和5年度実施予定のデジタル人材の育成に向けた研修の準備	引き続き、随時の情報提供や、講座等の実施による、女性の再就職に向けた支援の推進。デジタル人材の育成。	(1)ハローワークとの共催事業の継続 (2)東京しごとセンター多摩との共催事業の継続以上の事業に統合する。 (3)啓発パンフの配布などの情報提供の継続
44	65								
44	66	② セーフティネットコールセンター	ひとり親家庭養育費確保サポート事業	弁護士相談を活用してもらい、ひとり親家庭が経済的に自立できるように養育費を確保するために支援する。	令和5年度より新規事業として、弁護士相談と公正証書作成等手数料補助金について予算計上した。				
45	67	子育て家庭の質の向上に取組みます 基本的方向性4 支援強化と	施策項目1 子育てに関する親の精神的な不安の緩和	4101	① 生涯学習課	基本的な生活習慣や社会的ルールを学べる講座等の実施と充実（保護者対象）	(1)各校PTA家庭教育学級への運営業務委託の実施 (2)市主催 家庭教育をテーマとした講演会やイベントを開催 (第1回)「みんなの音楽会」開催(R4.9.17)、(第2回)家庭教育学級講演会開催(R5.3開催予定) (3)各校PTA家庭教育学級報告会（R5.3開催予定）	「親がしあわせであることが子どもの幸せにつながる」というシンプルな思いに気づきを得ることができる機会をつくっていく	(1)各校PTA家庭教育学級の実施（21校を予定） (2)家庭教育学級講演会及び講座など、保護者や子育てに関心のある方を対象としたイベントを実施予定。(計2回) R4.9.17に同イベントとして「みんなの音楽会」を開催。家庭教育をテーマにした「まなびあい」の場を人と音楽でつなぐことが出来た。子どもの成長だけでなく親育ちも支援しながら、共に豊かに生きることを考える場の提供を引き続き行う。
46	68			4102	① 子ども家庭支援センター	親の子育て力向上支援講座の充実	親の子育て力向上支援講座	子育てに関する悩み不安を解消できる場の提供	幼児期／児童期子育て講座の実施（2クール：各6日間、12人定員）
47	69			4103	① 福祉政策課	民生委員・児童委員の活動支援及び行政との連携	セーフティネットコールセンターと連携し、民生・児童委員の会長会において、子どもの貧困に対する市の取組状況を説明する予定。	民生・児童委員に対し、年1回以上の頻度で、子どもの貧困における現況や取り組み状況などを説明し情報共有を図る場を設定する。	民生・児童委員の会長会において、子どもの貧困に対する市の取組状況を説明する場を設定する。
48	70			4104	① 子ども家庭支援センター	子育てパートナー事業の充実（会員拡大）・周知の工夫	子育てパートナー事業	ボランティア活動・子育て支援事業等による子育て中の親の支援	(1)子育て支援者養成講座の開催(1回) (2)広報ひの、及びチラシ等での会員募集

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容	
49	71	子育て家庭の質の向上に取組みます 4 基本的方向性強化と生活	施策項目1 子育てに関する親の精神的な不安の緩和	4105	① 子ども家庭支援センター	ファミリー・サポート・センター事業（育児支援）の普及啓発	ファミリー・サポート・センター事業	相互援助活動の活発化による、地域の中で安心して子育てできる環境整備	(1)3・4カ月健診会場で事業をPRし、会員の登録手続きを行う(36回) (2)妊産婦サポート事業利用者に対する事業PR (3)提供会員向けのパンフレットの作成し、新たな提供会員の増を図る (4)資質向上にむけた講習会の実施(2回) (5)事業者と子ども家庭支援センターとの連絡会の実施(1回)	
50	72		施策項目2 安心して子育てができる環境の整備	4201	① 子ども家庭支援センター	ショートステイ、トワイライトステイのスムーズな利用の実現	ショートステイ事業 トワイライトステイ事業	子育て中の親の育児疲れ解消や急な用事、急病等への支援	ショートステイ事業について、立川市子ども家庭支援センター、日野市子ども家庭支援センター、事業者との打ち合わせの実施(年3回)	
51	73			4202	① 子ども家庭支援センター	一時保育事業のスムーズな利用の実現	一時保育事業	一時保育事業の適正配置と利用方法の周知	一時保育検討会の開催 ぼけっとなび、知っ得ハンドブック等での周知	
52	74		施策項目3 住宅支援の強化	4301	① 都市計画課	生活困窮世帯・ひとり親家庭等への民間賃貸住宅への入居支援（「あんしん住まいる日野（日野市居住支援協議会・住宅セーフティネット相談事業）」の実施）	(1)居住支援協議会の開催 (2)日野市居住支援協議会・住宅セーフティネット相談事業の実施	事業の継続実施	(1)居住支援協議会の開催 (2)住宅セーフティネット相談事業「あんしん住まいる日野」による相談実施	
53	75	支援効果的ネットワークワーキングを強化します 5 基本的方向性	施策項目1 支援を要する子どもの情報集約と連携	5101	① 関係各課	困難をかかえる子どもに関する連絡協議会等各種会議による情報の共有と連携	困難をかかえる子どもに関する連絡協議会等各種会議による情報の共有と連携	困難をかかえる子どもに関する連絡協議会等各種会議による情報の共有と連携	困難をかかえる子どもに関する連絡協議会等各種会議による情報の共有と連携	
54	76			5102	① 中央公民館	子どもの居場所づくりに関心のある団体等が連携し、情報を共有する場づくり	地域住民主体の子どものための居場所事業を実施 ・子どもの居場所「こむこむ」(9回) ・おむすびキッチン(2回)	関心のあるすべての地域住民が公民館を介して、子どもの居場所づくりに参加することが出来る体制の充実	(1)「子どもの居場所づくり講座」(4回程度) (2)地域住民主体の子どものための居場所事業の実施(4回程度)	
54	77				② 子ども家庭支援センター		子育てサークル・子育て支援グループへの支援	安心して子育てができる環境の整備	(1)子育てサークル交流会の実施(2回) (2)各子育てサークルへの訪問支援、立ち上げ支援(50回)	
54	78				③ 子育て課		子どもの居場所づくりに関心のある団体等が連携し、情報を共有する場をつくるため、国の動向等にも注視しながら関係部署や団体等と検討を今後行っていく予定	子どもの居場所づくりに関心のある団体等が連携し、情報を共有できる場をつくる	子どもの居場所づくりに関心のある団体等が連携し、情報を共有する場をどのようにつくっていくか検討を行っていく	
55	79			5103	① セーフティネットコールセンター	子どもの貧困対策を担う組織体制の検討	子どもの貧困対策を担う組織体制の検討	・子どもの貧困対策を担う組織体制の検討 ・子ども部と健康福祉部の役割分担に関連した検討に参加した。	・検討の結果、設置の必要性があると判断された場合には速やかに実施に向けた動きをとる。 ・子どもの貧困対策を担う組織体制の整備	・継続的な検討を進める。 ・子ども貧困対策などに対応する検討への参加
55	80				② 企画経営課					
55	81				③ 子ども部					
55	82				④ 福祉政策課					
56	83	施策項目2 全ての子どもに支援が届く情報発信と啓発	5201	① セーフティネットコールセンター	貧困に対する支援情報等を学校を通じて、全ての子どもへ提供（校長会等を通じた支援制度の周知など）	・受験生チャレンジ支援貸付事業のリーフレット配布（中・高） ・子どもの貧困対策に関する基本方針子ども向けリーフレットの配布（小・中・高）	貧困に対する支援情報等を学校を通じて、全ての子どもへ提供	・受験生チャレンジ支援貸付事業のリーフレット配布（年2回） ・子どもの貧困対策に関する基本方針子ども向けリーフレットの作成（内容・デザインの検討）		

事業数	担当課	基本的方向性	施策項目	管理番号	担当課	事業	具体的な事業名（または事業内容）	最終年度（令和8年度）目標	令和4年度の取組予定内容	
57	84	支 援 ネ ット ワ ー ク を 強 化 し ま す 基 本 的 方 向 性 5	施策項目3 相談機能と連携体制の強化	5301	① 子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターが子どもと家庭の総合相談拠点であることの周知の強化	子育てモバイルサービス「ぼけっとなび」 知ってハンドブック 子ども家庭支援センターだより 日野市ホームページ、公式LINE	子ども家庭支援センター事業及び相談窓口の周知	各種媒体を用いて周知	
58	85			5302	① 関係各課	庁内各課相互の「困難をかかえる家庭」の情報共有、支援へのつなぎ	庁内各課相互の「困難をかかえる家庭」の情報共有、支援へのつなぎ	庁内各課相互の「困難をかかえる家庭」の情報共有、支援へのつなぎ	庁内各課相互の「困難をかかえる家庭」の情報共有、支援へのつなぎ	庁内各課相互の「困難をかかえる家庭」の情報共有、支援へのつなぎ 【福祉政策課】ヤングケアラー支援策等の検討において、情報共有や支援体制に向けた意見交換などの検討も実施した。
59	86			5303	① 子ども家庭支援センター	『子ども包括支援センターにおける「総合相談窓口：子どもなんでも相談」』の設置	みらいくオープンに合わせて、関係機関と連携して、子どもの成長や発達、育児しつけといった子育て全般に関する相談を受け付けていく。	子育て全般に関する相談や成長、発達、健康に関する相談、問題別の専門相談を実施	・基本計画に沿った体制づくりの構築 ・子どもオンズパーソンとの連携検討	
60	87			5304	① 福祉政策課	ヤングケアラー支援検討会の設置及び支援方針の検討	・検討会議を開催し、支援策の検討を行った。 ・市内小中学校（小6～中3）を対象とした実態調査を実施した。	ヤングケアラーへの支援などをまとめた基本方針を策定し、支援できる体制を整備する。	・検討会議を開催し、基本方針の内容検討を進める。 ・実態把握のための調査を実施する。	
60	88				② 関係各課					
61	89		施策項目4 関係職員の気づきを促す 研修の実施	5401	① 学校課	学校管理職研修、初任者研修、10年経験者研修における貧困対策の気づきと連携意識の醸成（気づきと連携の強化）	教職員等研修事業経費	継続して節目ごとの研修を実施する。	節目ごとの研修の実施 (1)初任者研修：児童・生徒理解（子どもからのサインへの気づきについて） (2)2年次研修：SSWなど関係機関との連携の仕方について (3)中堅教諭研修：事例研究（配慮が必要な保護者とかかわり方など）	